



富士第一地区で交通安全市民大会（富士本町通りをパレード）

消費生活に関するアンケート調査

お宅の



富士市消費者運動連絡会は、昨年9月、消費生活に関するアンケート調査を行いました。このほど調査結果をまとめ発表しました。調査は主婦が日ごろ考えている生活面での諸問題や意識の実態などを調べ、今後の消費生活の向上をはかる目的で1000人の主婦を対象に行われました。調査項目は「対象者の特性」「生活状況」「生鮮食料品の買物動向」「ユニットプライシング」「消費者者運動

連絡会の知名度」の5点で、それぞれの質問に答えていただいたものです。対象となった1000人の主婦は、市内17地域の世帯割りて抽出し、昨年9月25日から30日までのあいだに調査票に記入していただいたもので932人から回答がありました。それでは、調査結果をお知らせいたしますので、消費生活にお役立てください。



対象者の特性

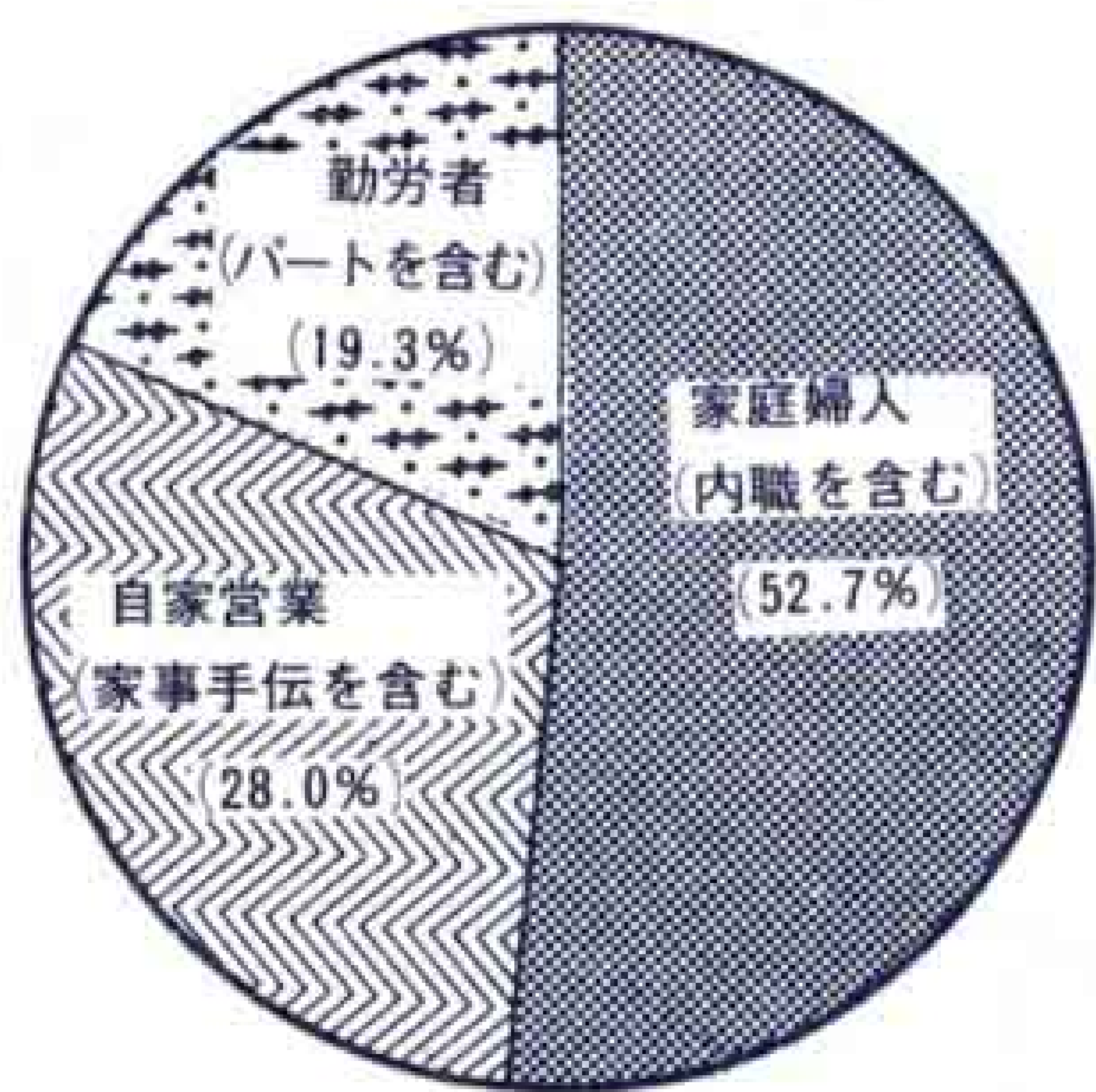
海岸地帯に多い 勤労婦人

回答のあった932人を年齢別に見ると、30才以下は97人、31才～40才が306人、41才～50才が333人、51才以上は196人です。

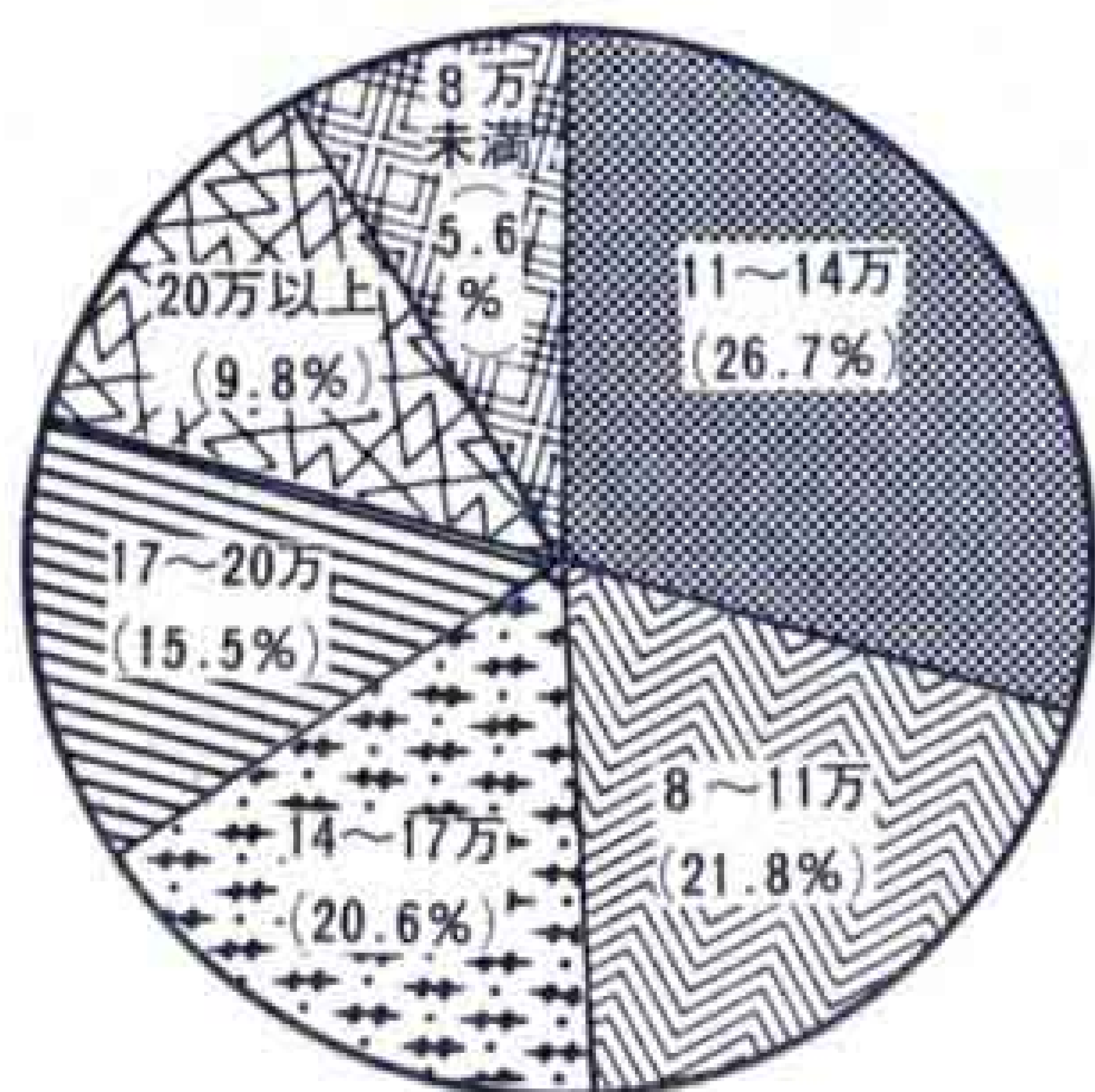
職業別では、家庭婦人が482人で52.7%、自家営業256人、勤労者は176人です。この調査で地域の特性が見られ、広見町の主婦48人中41人が家庭婦人で、逆に勤労者の多い地域は、田子浦地区の63人中25人、元吉原地区の39人中12人と海岸地帯に多く見られます。また自家営業は商業中心の吉原

地区で66人中30人と地区の約半数、農業中心の浮島、今泉第2地区では60%以上もありました。

家族構成は927人のうち4人家族が277人、5人が233人で、全体の半数を占めています。このほか3人家族は154人と16.6%でしたが、6人以上の家庭が263人と28.4%もありました。



月々の生活費



各家庭で1カ月に支出する金額は11万～14万円が一番多く901人中241人で26.7%、続いて8万～11万円が196人、14万～17万円が186人です。20万円以上を生活費にあてている人は88人、8万円未満の人が50人となっています。

約半数の人が生活苦を訴える

生活状況

前年にくらべ「暮らしむきが良くなった」と答えた人は923人中50人で反対に「悪くなった」と答えた人が447人です。なお昨年10月経済企画庁の発表した国民生活白書と比較しても同じような結果が出ています。その中で、暮らしむきや生活意識の変容について、インフレ心理からデフレ心理へ49年から50年にかけて、国民の生活意識が

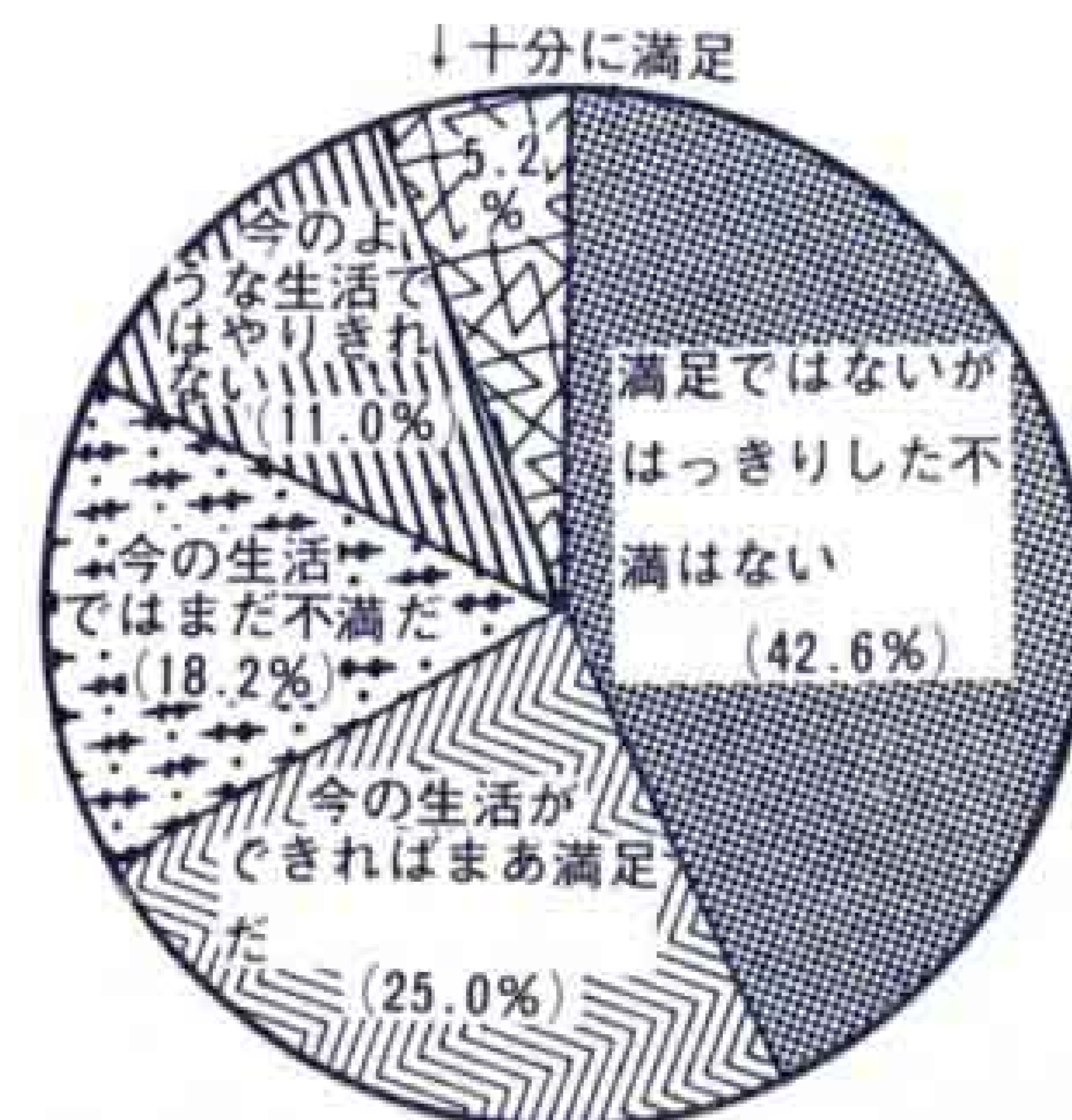
大きく変化した。高度成長下の大量消費使い捨てから資源を大切に、節約を重視する型に変わってきたことなどをあげています。

暮らしむきが良くなった理由としては、62%が「収入増」をあげています。このほか教育費や結婚資金、医療費などお金がかからなくなったことなどがあります。

悪くなった理由としては「物価があがった」と答えた人が447人中241人で、全体の約半数を占めています。

暮らしむきに対する満足度

現在の生活については「満足ではないが、はっきりした不満はない」とする人が891人中380人、「今の生活ができれば、まあ満足だ」と答えた人が223人です。これとは反対に「今の生活では不満だ」とする人が144人、「やりきれない」とする人が98人です。なお「十分



満足している」と答えた人は、わずか46人でした。

暮らしむすは

家族が多くなると貯蓄率は低下

貯蓄をしている人は924人中679人、したりしなかったりが194人、全然していない人は51人でした。この数字から見ると貯蓄の必要性に対する認識は、かなり高くなっています。

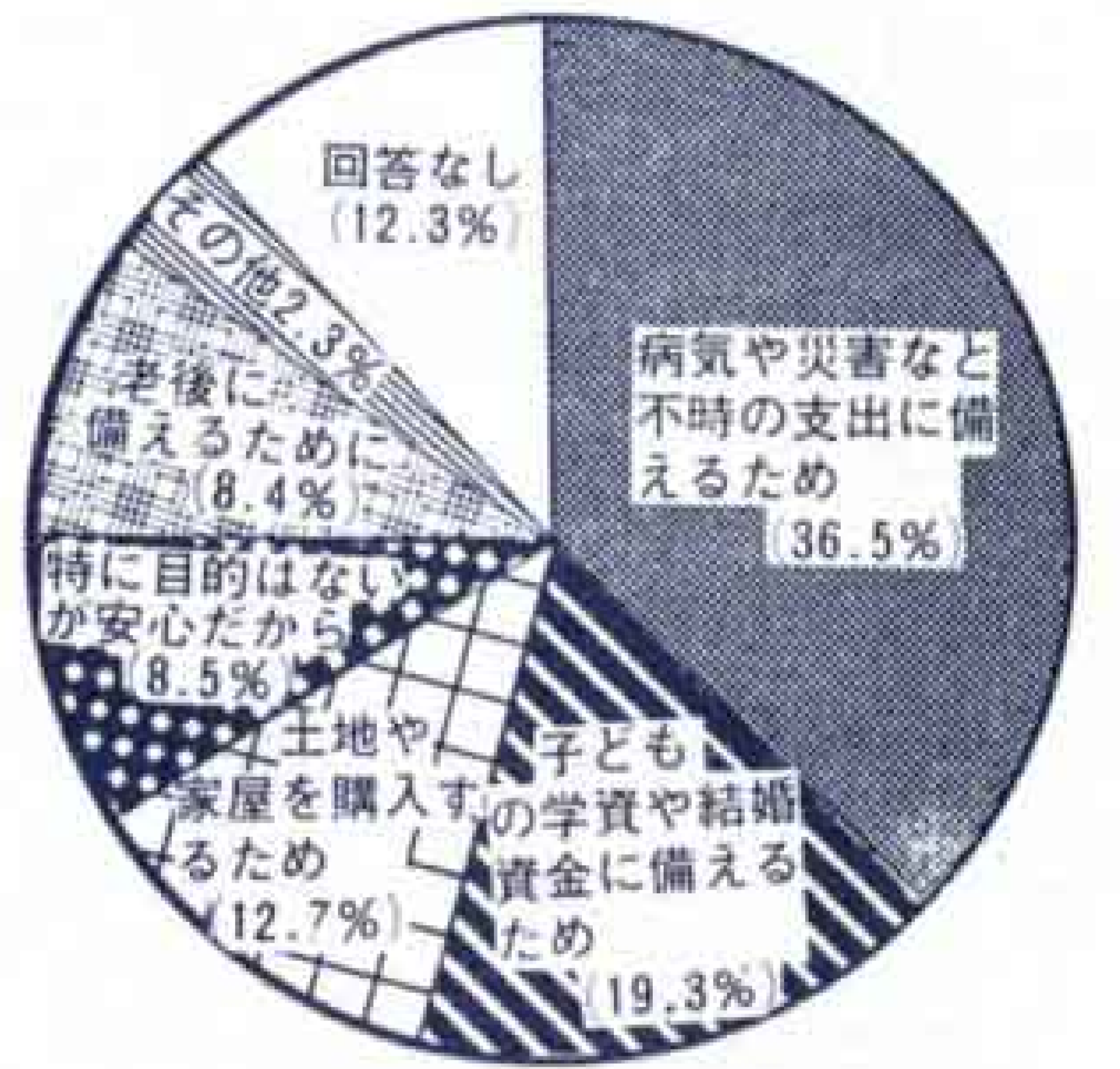
貯蓄について家族ごとに見ると、貯蓄を「している」人は2人の場合79.2%、3人

は79.1%、4人が80.4%、5人が68.5%、6人以上が66.8%です。また「していない」人の場合は、2人の家族で3.8%、3人が5.2%、4人が2.9%、5人が7.3%、6人以上が7.2%となっています。したがって、家族数が多くなるにつれて生活費の負担のためか、貯蓄はしにくく

なっているようです。

貯蓄の理由としては、679人中248人が「病気災害など不時の支出に備えるため」です。次いで「子供の学資や結婚資金に備えるため」「土地や家屋を購入するため」「特に目的はないが安心だから」「老後に備えるために」などです。なお、貯蓄をしない人やしたりしなか

ったりする人の最も多い理由は、貯蓄はしたいが余裕がないためとなっています

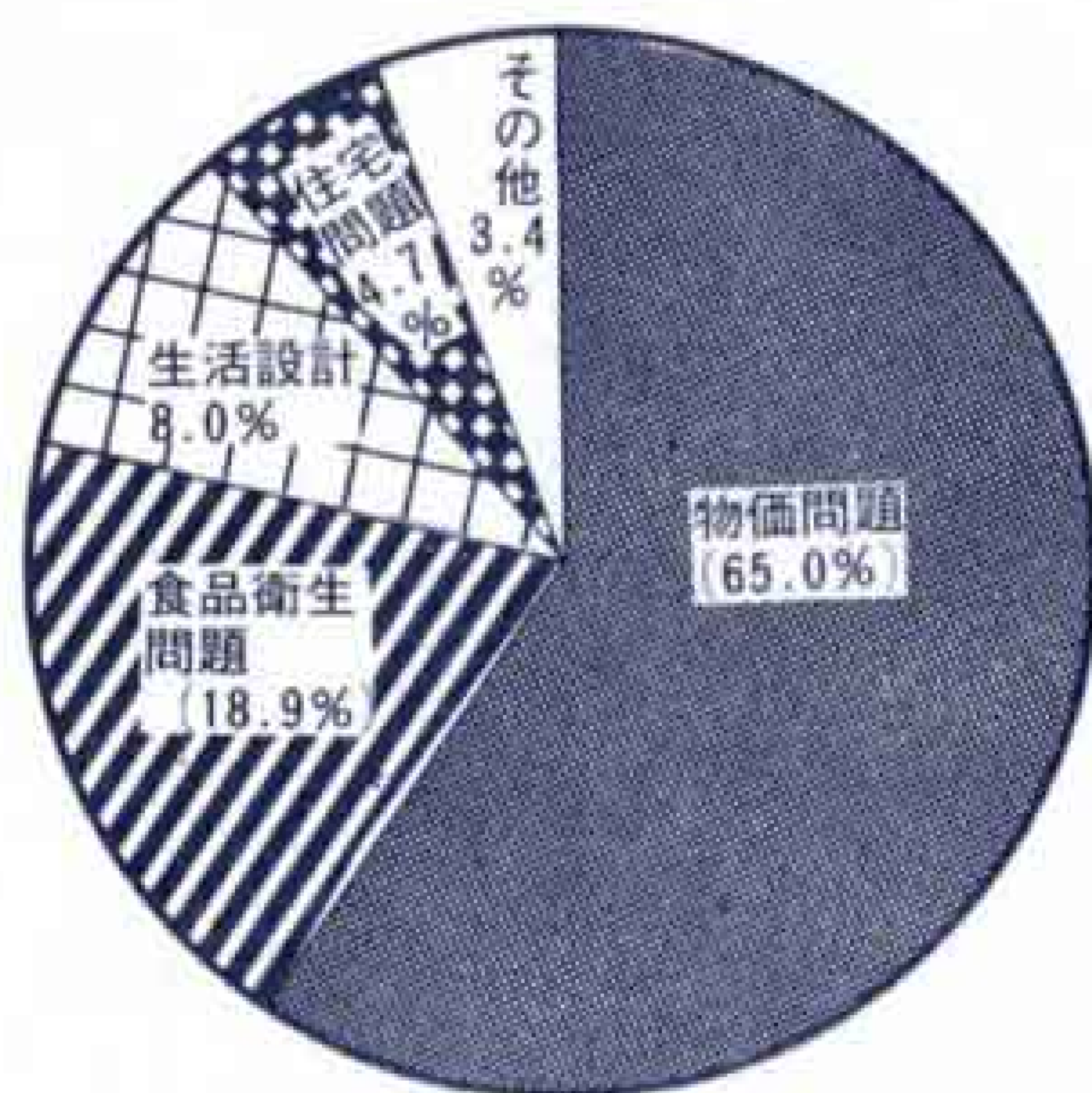


日常生活で困ること

日常生活で一番困っていることについて質問したところ、「特になし」と答えた人が877人中492人で注目されます。困っているものとしては「子弟の教育」が111人、「健康状態」が96人、「住」が58人などです。年齢別では30才以下は「住」、31才～40才と41才～50才は「子供の教育」、51才以上は「健康状態」がそれぞれ高い比率を占めています。

消費生活で一番関心のあるもの

消費生活の中ではやはり



「物価」に対する関心が一番多く850人の中で552人が訴えています。これは全体の65%にあたり、物価の安定を1日も早く望む声が強いことがわかります。また「食品に対する安全性の強化」を希望する人も161人で「物価」

と共に主婦の切実なことが伺えます。

物価の上昇と今後の生活については「将来への備えが心細い」と答えた人が863人中322人、「生活を向上させるゆとりがない」298人、「生活を切りつめなければやっていけない」182人と大半の方が生活への不安を持っています。

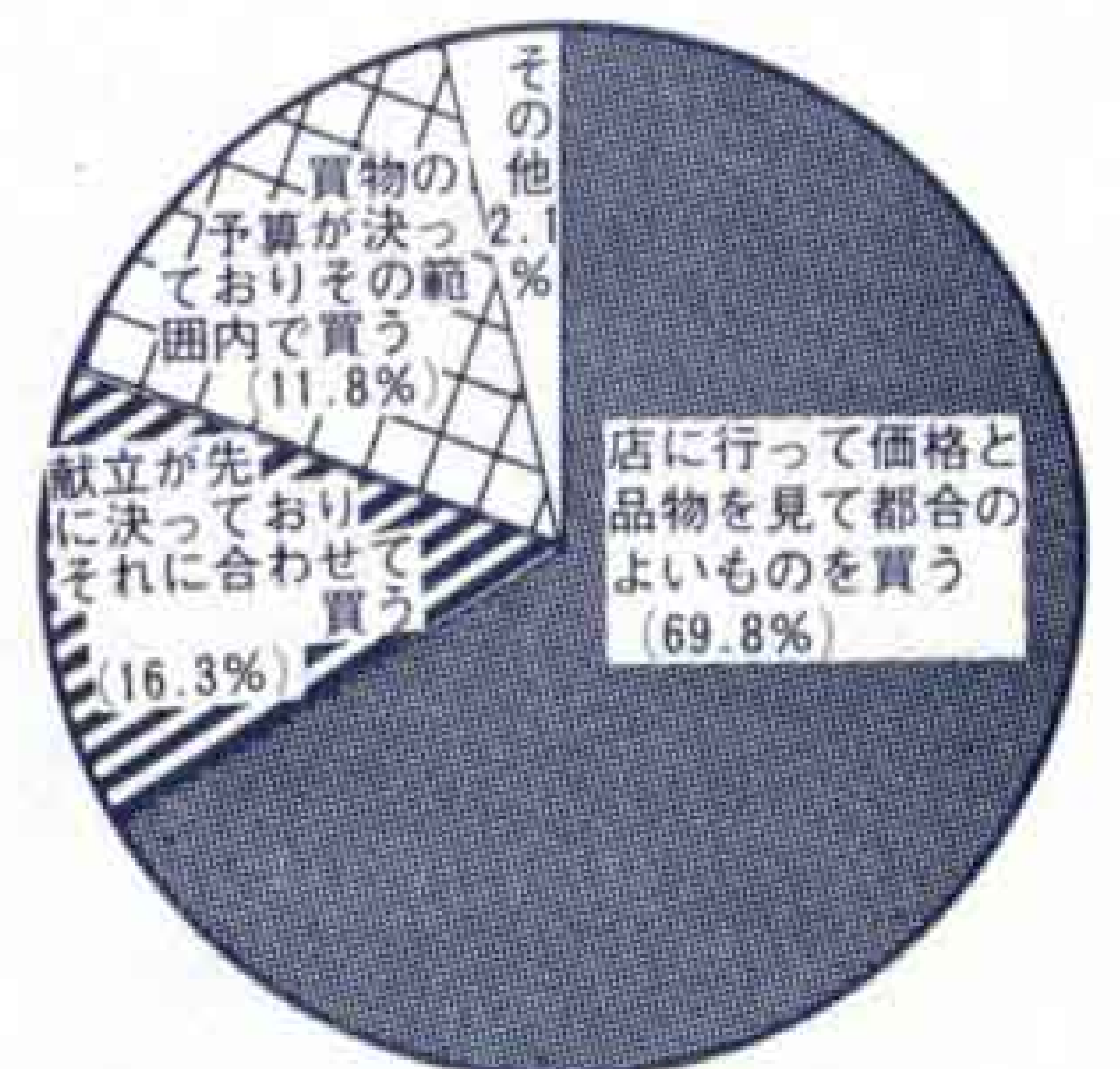
生鮮食料品の買物動向

生鮮食料品について、買物動向をたずねると、「予算をたてて、それに合わせて買う」人が910人中107人と少ないが目立っています。その場買いは、かしこい消費者のすることではないと言われますが、価格の変動が激しく、予算に合わせたら買物ができないのが現実のようです。したがって、安くて良いものがあれば、行きあたりぼったりでも買わざるを得ない

ということを物語っています。

購入時の注意点

野菜、果物、魚、肉の4品目について購入する時の注



まず生かせ物の命と人の知恵

意点をたずねました。

野菜の場合 「鮮度を考えて買う」人が770人中308人で40%、次いで値段を考慮して、家族の好みに合わせて、その日の献立に合わせてがほぼ同数となっています。

果物の場合 他の3品目にくらべて「家族の好みに合わせて購入する」人が多く38.9%となっています。次いで鮮度、値段の順です。

魚の場合 野菜と同様「鮮

度」を購入の第一理由とする人が半数以上の426人もあります。このほか、家族の好みに合わせる、その日の献立に合わせてなどです。

肉の場合 他の3品目と異なり「その日の献立に合わせて」人が782人中306人で39.1%あります。続いて家族の好みに合わせる、値段を考慮する、鮮度となっています。

以上の4品目を総合して見ると、鮮度がしめるウエ

ートは多くなっています。が、いずれの場合にも家族の好みはベストスリー

に入っていることが注目されます。



買物についてやす時間

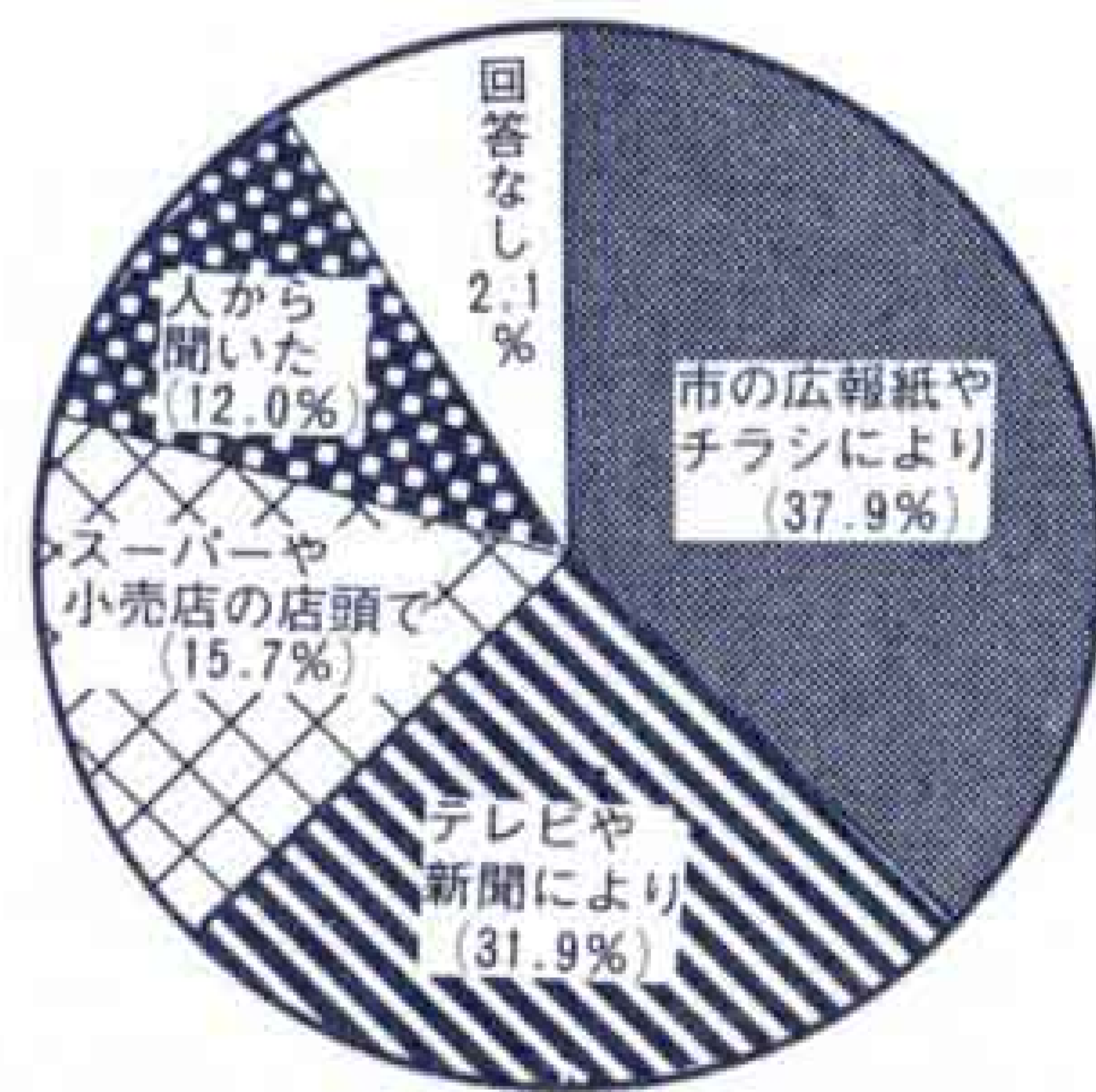
生鮮食料品を買う商店までの時間は、いずれの場合にも片道10分以内とする人が70%ぐらいになっています。しかし、買物の行動半径は品目によって異なり、野菜や果物の場合5分以内が50%、肉や魚の場合には10分以内が50%と変化しています。30分以上の所まで

買物に行くのは、肉の場合が一番多く5.4%、次いで果物の4.3%、魚と野菜の3.6%の順です。なお、肉の場合比較的遠くまで買物に行かなければならないことは購入を慎重にすることや、店の専門化傾向によるものと思われま

ユニットプライング制度

ユニットプライング(単価表示)と言う制度の必要性がさげばれていますが、その言葉を「知っている」と答えた人は892人中477人で全体の53.5%あります。何で知ったかの質問では、市の広報紙やチラシが37.9%、テレビや新聞が31.9%、スーパーや小売店の店頭、人から聞いたなどです。

また、実際に役立つかどうかは、477人中404人がその必要性を認めています。

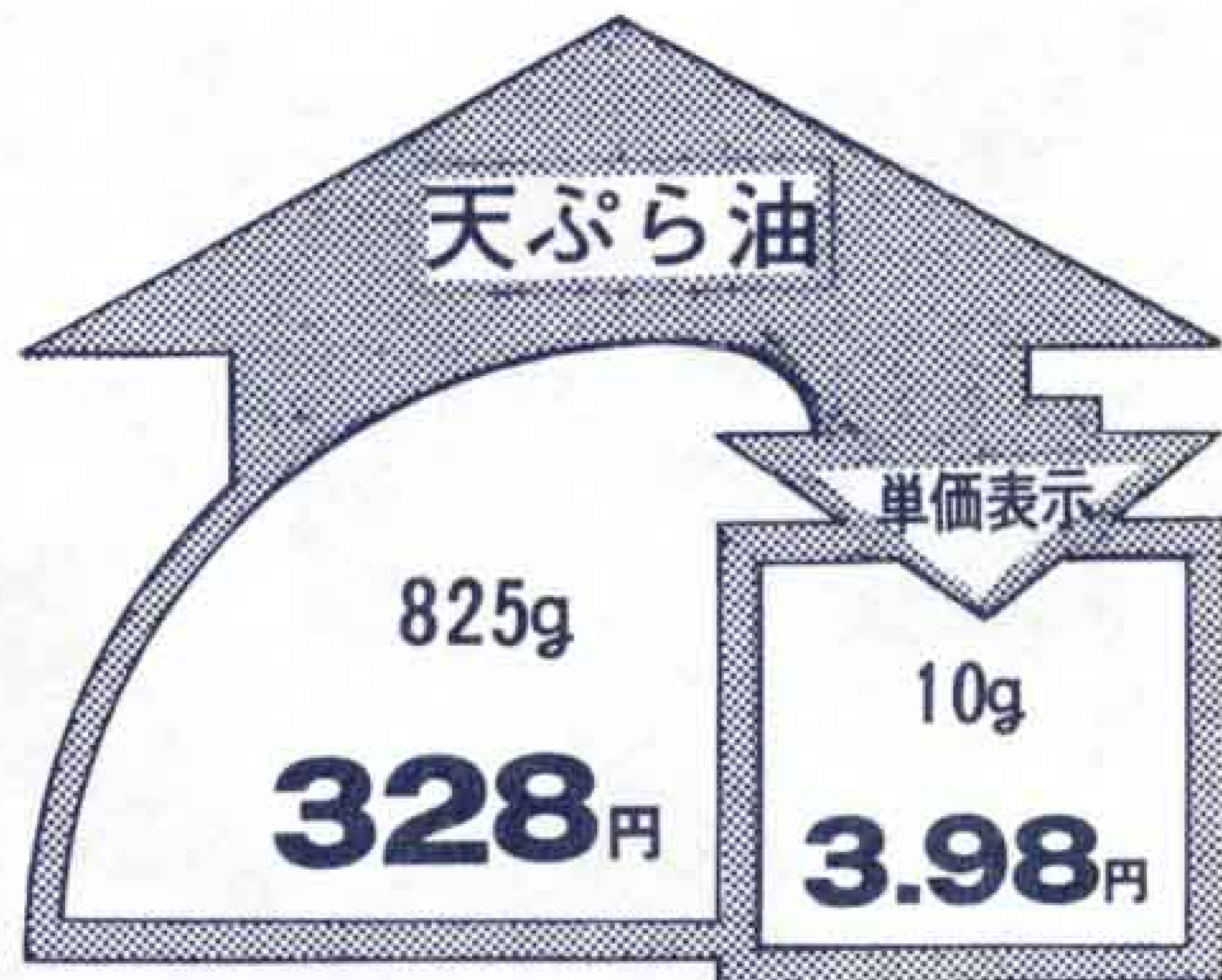
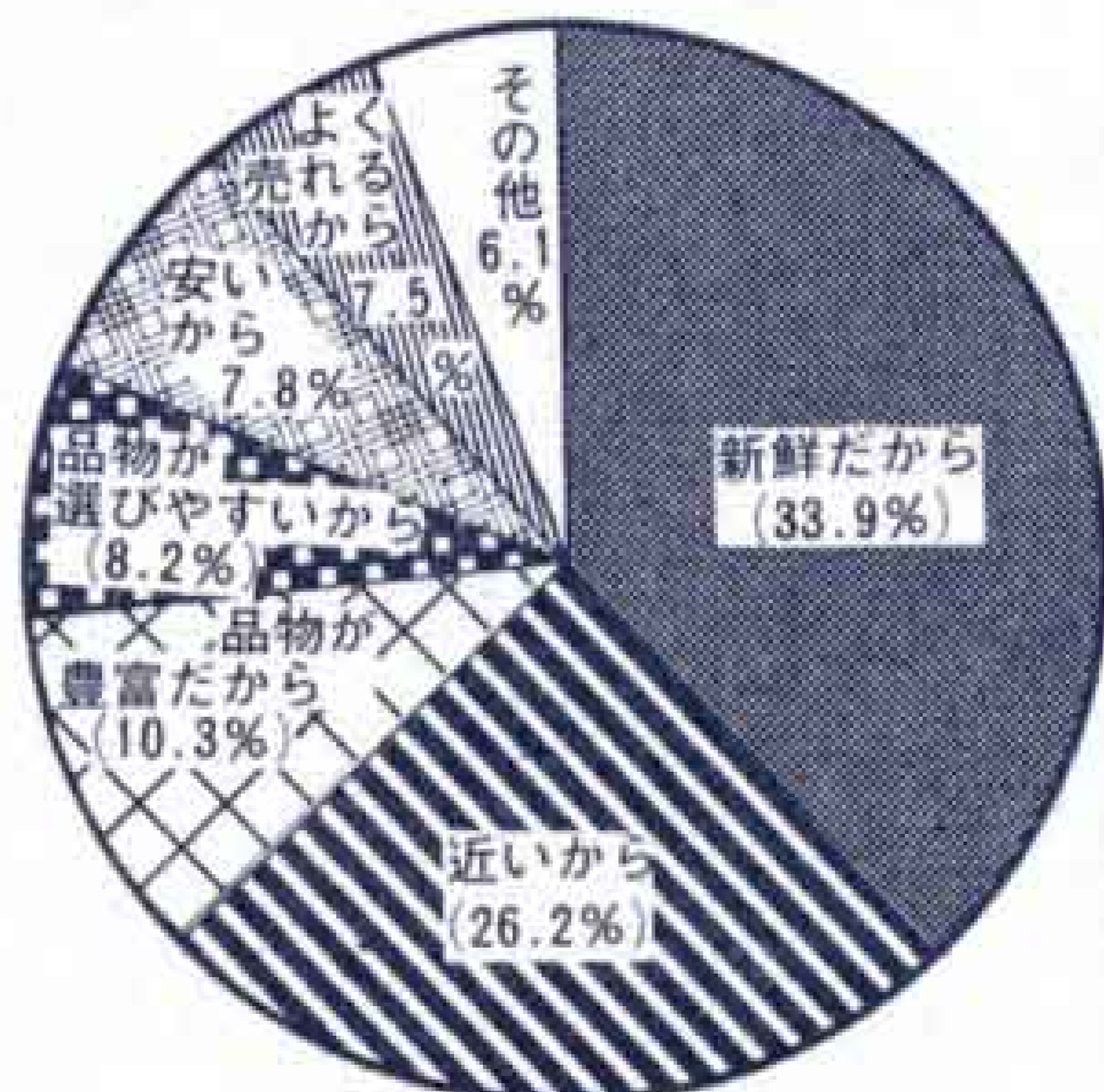


70%が買った店で買物

は4品目とも共通していま

買物をする店が決まっている人は、平均70%もあります。しかし、果物屋の場合、吉原、富士、鷹岡の中心地をのぞき専門店が少ないことから、決まっていな

す。ところが肉の場合、「品物が豊富」なことや「品物を選びやすい」ことが「安い」ことよりウエートをしめ、きわめて慎重なことがわかります。



協力商品にはプライスカードがついています

みんなの力で交通事故をなくそう

富士第1地区で 交通安全市民大会

みんなの力で交通事故をなくそうと、富士第1地区では、「第1回交通安全市民大会」を2月11日、富士第1小学校で開きました。子供会や町内会、婦人会など1000人が参加し、小学生の意見発表、大会宣言などを行いました。そのあと県警のプラスバンドを先頭に横断幕やプラカードを持って、富士本町通りを全員でパレードし、市民に交通安全を呼びか

けました。

なお、大会宣言は、我が家から事故をなくそうを合言葉に、次のことを訴えました。

- 私達ドライバーは常に交通ルールを守り、弱者の安全を確保します。
- 私達歩行者は、道路へのとび出し、

おしゃべりわるふざけに、注意します。

- 私達は家族そろって、交通安全の話をし、事故防止に努力します。



正しい交通規則を身につけ 下級生の模範に

富士第1小6年 山本亜津子



富士市では、交通事故が毎年少しずつ増えています

がまだ1日に6件もの事故が起きています。統計を見ると、登校の際の事故は少なく、午後2時から6時ごろ、つまり下校時や遊びにでた時に多いということです。

友だちどうしておしゃべりをしながら歩いていると、話しにつられて道路を広がって歩いてしまったり、歩行者用の信号がついたり消えたり

しているのに、まだ間に合うと急いで渡ったりしてハラハラすることがあります。

子供の事故で一番多いのは飛び出しです。学校のろうかでおつかると大きなこぶができるくらいです。ま。だけど道路で飛び出し、自動車としょうとついたらどんなに大変な事になるか、みなさんにも想像がつくでしょう。

交通戦争ともいわれるこの世の中自動車運転する人達だけが交通ルールを守っても、歩行者のわたし達も守らなければだめなのです。ひと

りひとりが常に注意するという気持ちをもって歩くようにしなければ、いつまでたっても交通事故はゼロにならないと思います。

わたし達は6年のはじめに交通安全リーダーとなりました。新しいワッペンを胸につけたとき、このワッペンにはずかしくない様な最上級生として、交通規制を身につけ、下級生みんなの安全を守るためにがんばろうと心にちかいました。6年生として残された1カ月余りをみんなで力を合わせ、安全を守り、次のリーダーにバトンを渡すまでがんばります。

あなたもひとこと

みなさんのご意見ご要望を「市長への手紙」でお出してください



- 市では、いつでも「市長への手紙」をお受けしています。どんなご意見でもお寄せください。
- 用紙は、市役所、各公民館など市の公共施設にあります。
- 手紙は、切手をはらずにご利用できます。
- 手紙には住所、氏名、連絡先を必ず書いてください。

春の火災予防運動 2月29日～3月13日

春先は空気が乾燥して火災が発生しやすく、また季節風などで大火になりかねません。そこで、市民のみなさんに火災の恐しさを認識していただき、火災を防止するため、2月29日から3月13日まで「春の火災予防運動」を行います。運動は前半の7日間は車両や船舶、林野の火災防止後半の7日間は一般火災防止を重点に進めます。なお、運動期間中に次のことを行います。

- 消防演習(2月29日)
- 空地などの枯草処理指導
- 消防団による一般家庭の火災予防査察
- 危険物輸送車両の立入検査
- 営業用、自家用バスなどの立入検査
- 避難訓練現地指導
- 病院、ホテルなどの消防設備自主検査
- 自衛消防隊操法研修会



- 身体不自由老人家庭の火災予防の呼びかけ
- 一般防火講座の開催
- 私立幼稚園などの巡回映画会
- 火災現場写真展

おたずねしま

卸売市場の大型化、総合化、公設化について説明してください。

答

静岡県は、昭和47年に「県卸売市場整備計画」を策定しました。この整備計画は、卸売市場法並びに卸売市場の整備基本方針に基づいて、将来の流通事情に対応するため卸売市場の適正な配置の方針、近代的な卸売市場の立地、配置

などに関する指標などを内容としたものです。「富士市公設地方卸売市場」は、この整備計画に基づくもので、公設地方卸売市場としては県下第1号の市場です。

整備計画で市場整備の基本的方向として、市場の大型化や総合化、公設化が3本の柱となっています。大型化とは文字通り市場の規模を大型化することであり総合化とは青果、水産、その他食品など複数の部類を

同一の市場で取扱うことです。さらに地方公共団体が市場の施設を建設し、民営の業者によって営業されることを公設化といっています。



3月の



休日当直医院は、富士市医師会が急病者のために定めたものです。ところが、最近、かかりつけの医院がやすみなでみてくださいと、当直医院に来る人が多くなりました。特に医療センターに多く、急病者の診察に支障をきたしていますので、当直医院は急病のときにだけご利用ください。

3月7日

- 外科 芦川病院(中央町2 52-2480)
- 鈴木医院(宇東川東町52-2213)
- 産婦人科 米山病院(吉原4 52-3060)

3月14日

- 外科 望月医院(本市場 61-8075)
- 米山病院(吉原4 52-3060)
- 産婦人科 望月医院(西比奈34-0445)

3月20日

- 外科 中央病院(本市場 61-8800)
- 快明堂医院(中央町1 51-0301)
- 産婦人科 武田医院(西宮島63-5122)

3月21日

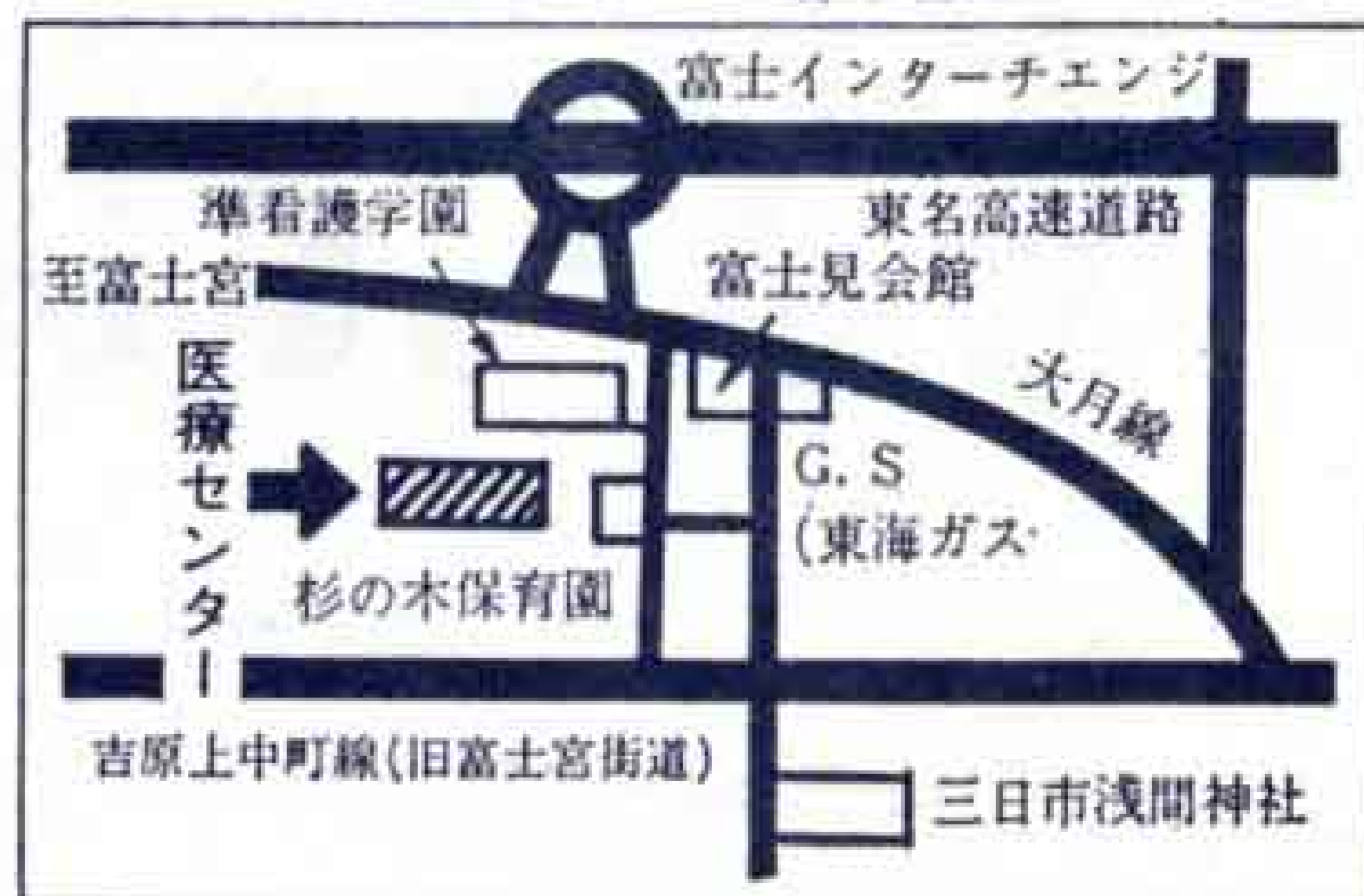
- 外科 中央病院(本市場 61-8800)
- 渡辺病院(錦町1 51-3751)
- 産婦人科 中央病院(本市場61-8800)

3月28日

- 外科 山崎医院(厚原 71-3315)
- 米山病院(吉原4 52-3060)
- 産婦人科 窪田医院(平垣 61-3100)

※内科、小児科は富士医師会が「医療センター」で行っています。診療時間は午前9時から午後5時までです。ただし受付時間は4時30分までです。医療センターでは、日曜祝祭日以外は行っておりません。

医療センター案内図



医療センターの住所は「富士市伝法字杉ノ木2850-2(長者町)」電話は52-3104です。



暮らしの中の消費者展

インフレや不況が深刻化する中から「節約」という生活意識の変化が芽生えてきましたね。そこでこれを土台にもう一度暮らしを見直し、豊かな消費生活づくりを考えていただこうと、富士市消費者運動連絡会は、暮らしの中の消費者展を2月11日と12日に吉原市民会館で開きました。

会場には「価格を考えるコーナー」、「安全を考えるコーナー」、「くらしを考えるコーナー」、「手づくり食品と試食コーナー」などが設けられ、消費者のみなさんに勉強していただきました。なお、産地直売コーナーが大盛況で、海産物は2日分を1日で売りつくすほどでした。

仲間づくりの輪を広げる青年祭

各地域の青年団が、日常の団体活動の成果を発表し、親睦を深め仲間づくりの輪を広げようと、第9回青年祭を2月14日、富士市農協会館で開きました。

催しは展示と発表部門に別かれ、展示部門では油絵、版画、切り絵、ワラ細工など美術工芸品や活動状況の写真紹介などが行われました。また、発表部門では演劇、意見発表、コーラス、舞踊などがひろうされ、1日中大にぎわいでした。



社会に巣立つ若者のつどい

今年中学校を卒業して就職する人や技能訓練校へ入学を希望する人を対象に「社会に巣立つ若者のつどい」を2月18日開きました。午前8時30分に鷹岡公民館へ集合し、午前中4班に別かれ、畠山製作所、山川工業、日本プラスト、PG株式会社の職場を訪問しました。午後は少年自然の家で、グループごとに職場や技能訓練所の経験豊かな先輩を囲んで話し合いをしました。研修が終わったあと、少年自然の家周辺で記念に植樹を行いました。



田子の浦港

1年間に223億6500万円の 輸出入が

田子の浦港へ行くと大きな船からチップや木材をおろしたり、荷物を積んだりしていますね。外国の船もたくさん入ってきますが、さきごろ清水税関支署田子浦出張所から、昨年1年間の輸出入の貿易概要が発表されました。

輸出は26億300万円、輸入は197億6200万円で、合計223億6500万円となり、49年が223億9900万円ですからわずかに減っています。

輸出

輸出は26億300万円で、49年が25億8100万円でしたからわずかに増えています。品目別には製紙機械を主体とした「一般機械」が一番で14億5900万円、次いで「紙・板紙」が5億6200万円、富士宮特産の「にじます」1億3800万円などです。

輸出先では、ニュージーランドが

6億4200万円で全体の24.7%を占めています。これは製紙機械のプラント輸出によるものです。次いで中国が紙・板紙を中心に5億6200万円、カナダが製紙機械などで4億7000万円、インドネシアが製紙機械、紙・板紙の輸出で3億5200万円です。このほか、韓国、マレーシア、イギリス、アメリカなど全部で20カ国にも



及んでいます。

輸入

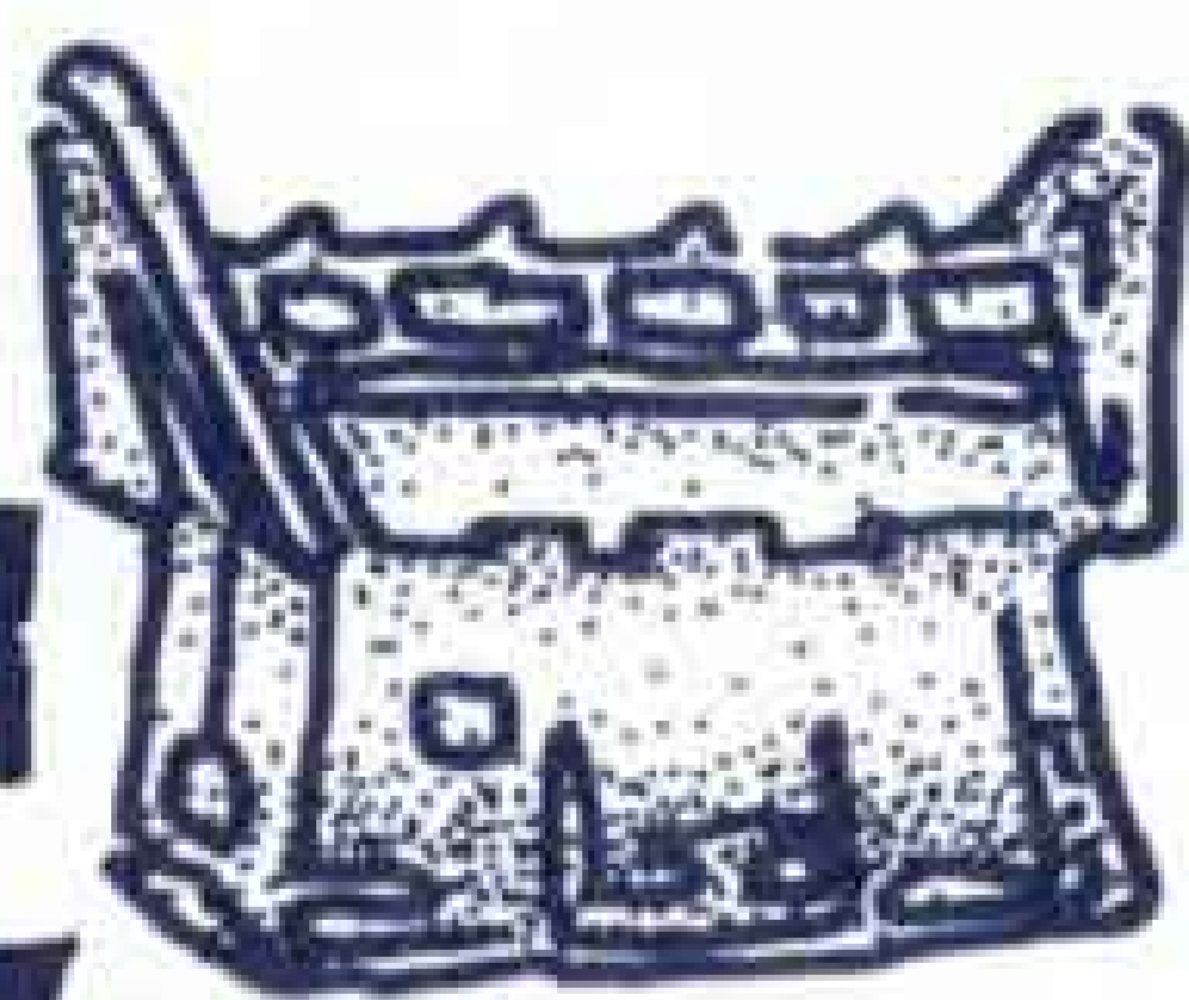
輸入は197億6200万円で、前年が198億1800万円ですから、わずかに減少しました。品目別では「とうもろこし」が18万トンで83億6200万円、「木材チップ」が28万トンで57億9600万円、「木材」が23万立方メートルで40億9500万円、以上の3品目で全体の94.6%を占めています。

輸入先別では南アフリカがとうもろこしを主体として61億1200万円、次いでマレーシアが木材、チップなど

で52億2800万円、このほかアメリカ、モザンビーク、ソ連、インドネシアなど23カ国にも及んでいます。

外国貿易船の入港数は159隻で、前の年に比べ21隻少なくなりました。国籍別では、日本が43隻、リベリア34隻、パナマ25隻、マレーシア19隻、ソ連14隻、ギリシャ7隻などで、14カ国の船舶が入港しました。

ふるさと の歴史



道ばたの神様

1月14日は、どんどん焼きでした。みんなは、どんどん焼きはなんのお祭りか知っていますか。どんどん焼きは道祖神(どうそじん・道を守ってくれる神様)のお祭りです。

家の近くに、道祖神とか佐倍乃加美(さえのかみ)と文字をほった石や、男の人と女の人が手をつないだりしているようすをほった石がありませんか。それが、道祖神です。

ところで、どんどん焼きのだんごを食べるとカゼをひかないとか、虫歯にならない、そのほかにも竹を屋根にのせておくと火事にならないとかいろいろ言われています

ね。昔の人達も、道祖神にたくさん願いごとをしました。村に悪い病気が入ってこないように…今年も豊作でしあわせがくるように…元気な子供が生まれて丈夫に育つようにと…

道祖神は、さんさ路や村と村との境、神社の境内にあってみんなを守ってくれるとっても大切な神様でした。ですから、村にはたいい道祖神があつて大切に祭られていました。今ではどんどん焼きを田んぼの中や河原など広い場所で行いますが、大淵や岩松、鷹岡では、今でも道祖神の前で行うところもあります。

